

取扱説明書

3輪ドラムキャリー

品番：#574170000 型式：PD-KC3

1, 組立方法

- ① 3輪アームに自在輪を差込み、自在輪のシャフトの溝を3輪アームの固定用穴位置に合わせてください。
- ② 六角穴付きボルトとスプリングワッシャを使用して3輪アームと自在輪を確実に固定してください（図1参考）。
- ③ 3輪アームを本体フレームの固定位置にゴムハンマー等を使用して取り付け、六角穴付きボルト、スプリングワッシャ、皿ワッシャを使用して確実に固定してください（図2参考）。

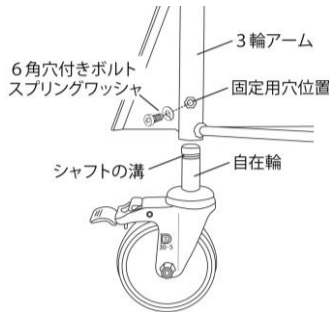


図1

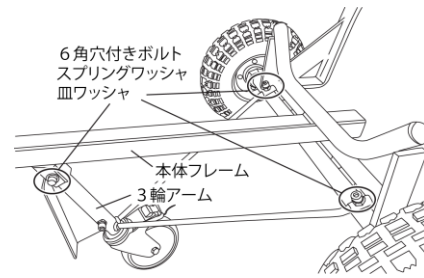


図2

2, 使用方法

- ① A, ハンドル高さ調整ノブを引いて、ハンドル長さを調整してください。ハンドル高さ調整穴は、13個あります。任意の高さに調整後、A, ハンドル高さ調整ノブを確実に元の位置に戻して（ハンドル高さ調整穴にA, ハンドル高さ調整ノブを挿入する。）ください（図3参考）。
- ② 本体フレーム下部の2本の爪をドラム缶の下に当て、B, フック高さ調整ノブを引き、ドラム缶のフランジ部のフックを引っ掛けてください（図4参考）。
- ③ 片足で3輪アームのステップに乗り、後ろに体重を掛け、ドラム缶を倒しながら、2本の爪に載せてください（図5、6参考）。
- ④ 自在輪を接地させ、ドラム缶が保持されている事を確認して移動させてください（図7参考）。
- ⑤ ドラム缶を積載した状態で一時的に停止させる場合は、自在輪のストッパーを使用して本機が動かない事を確認してください。
- ⑥ ドラム缶を降ろす際は片足を3輪アームのステップに載せ、ハンドルをゆっくりと起こしながら、慎重にドラム缶を接地させてください。ドラム缶が接地した状態でハンドルを前に押してドラム缶から爪を外してください。ドラム缶からフックを外し、ハンドルを収納してください。

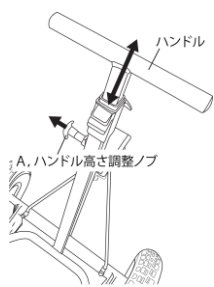


図3

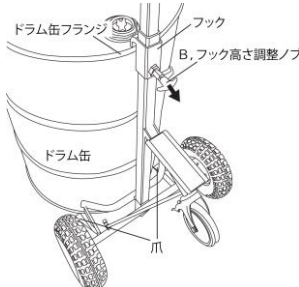


図4



図5



図6

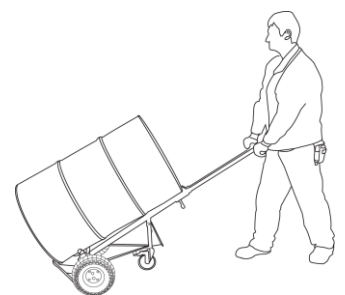


図7

3, 注意事項

△警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重症を負う危険性のあるもの。）

- ① 本機は、平らな地面で使用してください。傾斜面、軟弱地、滑りやすい地面では使用しないでください。ドラム缶をすくい上げる時や移動時に、本機、及びドラム缶が安定せず、非常に危険です。
- ② ハンドル長さを調整する際は赤ライン以上引き出さないでください。ハンドルが抜け、怪我をする恐れがあります。
- ③ ドラム缶のすくい上げ時、積載時は、常に**フックがドラム缶のフランジに引っ掛かっている事、爪にドラム缶が載っている事**を確認してください。作業中にフックが外れると、重大事故につながります。
- ④ 作業中は、作業員以外は作業場所の周りに近寄らせないでください。又、ドラム缶を降ろす時は周囲の安全を確認し、足元に注意してください。
- ⑤ **自在輪を接地させた状態で本機から離れないでください。**本機が動き出し、重大事故につながります。
- ⑥ ドラム缶を降ろす際は必ず**ステップに足を乗せてゆっくりと**本機を起こしてください。起こす勢いで怪我をする恐れがあります。
- ⑦ 本機の能力は**200kg**です。それ以上の重量があるドラム缶には使用しないでください。
- ⑧ 2種類のノブを引いて、ハンドル/フックの高さを調整後、**ノブが確実に元の位置に戻っている事（調整穴にノブが挿入されている状態）**を確認してください。
- ⑨ 本機はスチールドラム缶専用です。フランジの無いドラム缶や、プラスチック製ドラム缶には使用出来ません。
- ⑩ 使用前には、本機に変形、破損、ヒビ割れの有無、及び各 부품の締め付けを確認し、異常がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- ⑪ 使用中に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。
- ⑫ 本機は、ドラム缶を移動させる機器です。その他の用途には使用しないでください。

